

認定 NPO 法人 子どもの心理療法支援会

精神分析的心理療法プログラム（関西 2021-22 年）

募集要項

はじめに

京都・大阪を中心に心理療法支援や研修の提供を行ってきました「子どもの心理療法支援会」は、その活動の社会的意義も認識され、寄付金控除などの税制が優遇される認定 NPO 法人として認められています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、開講が危ぶまれた精神分析的心理療法研修プログラムですが、研修のオンライン化によって、何とかプログラムを維持することができました。時間や費用をいとわず、たとえ困難な状況にあったとしても、心理療法を実践する力の向上を求める先生方の熱意にサポチルは支えられているのだと改めて深く感謝しております。

この研修プログラムは精神分析的心理療法に関する高い専門性を有した心理臨床家を育成していく活動の一環として開講してきました。皆様が自立性・自主性・専門性を持ち、目指す成長を達成するために学ぼうとする「場＝アトリエ」をこちらが提供するという「アトリエシステム」をスローガンに、今年度も進めてまいります。

・サポチル精神分析的心理療法研修プログラムの特徴

サポチル精神分析的心理療法研修プログラムは、対話を重視した少人数制のプログラムです。参加者の皆様が、理論に対する疑問や連想、日々の臨床現場での体験を、講師や、様々な背景と経験を持つ参加者同士で話し合いながら、より深く、多様で、時には新しい視点で理解していくことができる場を提供しています。

そのほかにも、通年の講義形式で、一つのテーマについて複数の講師から学ぶ臨床セミナー、より実践的かつ集中的な学習を可能とする訓練コースなどがあります。訓練コースにつきましては、直接事務局 (info@sacp.jp)までお問合せください。

・今年度の主なプログラム内容の変更点

今年度は各プログラム（一部を除く）にオンラインのみの参加枠を設け、関西圏以外の方にも参加していただきやすくなりました。また、文献の変更点は、文献講読Iが、京都が「ビオン」、大阪は「クライン」となります。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

認定 NPO 法人 子どもの心理療法支援会
理事長 平井正三

1. プログラム一覧

- 本研修プログラムは、「基幹セミナー」、「応用セミナー」によって構成されています。
- 下記日程は、講師の都合で一部変動することがあります。ご了承ください。

コース名		講師	会場	定員	オンラインのみ	日時	受講料	支払い方法	
基幹セミナー	乳児観察セミナー	平井正三	御池	5名	—	毎週月曜日19:30~21:00	5,000円/1回	B	
		鶴飼奈津子	梅田	5名	—	毎週土曜日10:30~12:00			
		由井理亜子	御池	5名	—	毎週土曜日 11:00~12:30			
	精神分析入門セミナー (小人数の講義形式)		津田真知子他	京橋	10名	有	第1土曜日 15:30~18:00	30,000円/ 全10回	A
	ワーク・ディスカッションセミナー		鈴木誠	御池	8名	有	第3土曜日 18:30~21:00	50,000円/ 全10回	A
	文献講読	文献講読Ⅰ	クライン	飛谷渉	なんば	15名	有	第4土曜日 18:30~21:00	正会員 50,000円/ 全10回 その他 60,000円/ 全10回
ピオン			平井正三	御池	12名	有	第1土曜日 18:30~21:00		
文献講読Ⅲ 「こころの発達心理学」		前半:久保信代 後半:狗巻修司	前半:オンライン 後半:御池	12名	有	第2土曜日 16:30~18:30			
		松本拓真	オンライン	12名	有	第3土曜日 19:00~21:00			
応用セミナー	GSV	Small Group Supervision I	飛谷渉	なんば	5名	有	第2・4火曜日 20:00~21:30	5,000円/1回 90分	C
		Small Group SupervisionⅢ	仙道由香	新大阪	4名	無	第2・4火曜日 8:30~10:00	6,000円/1回 90分	
	勉強会・ワークショップ	森ノ宮事例検討会	津田真知子他	京橋	10名	有	第1土曜日 18:30~20:30	25,000円/ 全10回	
		思春期青年期の精神分析的 心理療法セミナー	飛谷渉	なんば	15名	有	第2土曜日 18:30~21:00 (月により第5土曜日開催)	50,000円/ 全10回	
		心理療法のアセスメント (成人)	仙道由香	新大阪	5名	無	第4土曜日 18:30~21:00		
		初学者向け子どもの心理療法 セミナー	渡邊智奈美	京橋	8名	有	第2土曜日 13:30~15:30	2,000円/ 全10回	
正会員限定	土曜研究会	土曜研究会 委員会企画	御池	—	有	第3土曜日 19:00~22:00	無料	正会員対象 ご希望の方は事 務局まで	

【研修プログラムへのオンライン参加について】

- 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、一時的にオンライン参加を検討したい方
会場参加を希望された場合でも、感染状況に応じたオンライン参加が可能です。ただし、仙道先生の「Small Group S.V.Ⅲ」・「心理療法のアセスメント(成人)」につきましては、講師が必要と判断した場合のみ可能ですので、お申し込み後に直接講師とご相談いただくことになります。
- 遠方在住等により会場参加が難しいため、オンライン参加したいという方
申込用紙の「オンラインのみの参加」に○をつけてお申し込みください。

【支払い方法】

- A：受講料は3月末までに納入してください。分納を希望される方は、半額を3月末まで、残りの半額を10月末までに指定の振込先へ納入してください。
- B：各月ごとに講師にお支払ください。

C：セミナー開講後、講師の指示に従ってください。

※一度納入されました受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。

※料金の分納制度はあくまで振込みの負担を軽減するための措置です。研修プログラムは1年を通して参加していただくことで得られる濃密な学びとメンバーシップを重視しておりますので、半年単位の参加はご遠慮いただいております。

※3月末までに前年度の正会員会費の納入が確認できない場合には、非会員価格の適用となります。

2. お申し込み

●**対象**：臨床心理士、医師、それに準じる専門家。もしくは心理臨床の実践について学んでいる大学院生。

●**申込方法**：申込用紙に必要事項を記入の上、**2021年2月末日（一次募集）**までに「子どもの心理療法支援会」事務局までE-mailまたはFaxにてお申込みください。

●**参加の可否**：参加希望者が定員を超えた場合は、前年度から引き続き受講される方に優先的に参加いただきます。次に新規に参加される正会員、賛助会員、一般の順にご参加いただきます。正会員、賛助会員の中で定員を超えた場合は、先着順にてご参加いただきますのでご了承ください。参加の可否につきましては、3月上旬に事務局よりご連絡いたします。ご参加いただける場合は、その連絡とともに受講料の振込みについてのご案内をお送りいたします。連絡方法は、E-mail、Fax、郵送の3通りがあります。ご希望の連絡方法を申込用紙の「参加可否の連絡方法」の欄でご指定ください。

※最近、事務局メールからyahoo mail、gmail、hotmailなどのフリーメールアドレスをお持ちの方にメールが届かないという事例が散見されます。1週間以上返事が無い場合はメールの不具合の可能性がありますので、事務局までお問合せください。また、迷惑メールフォルダなどに自動的に振り分けられることもありますので、ご確認をお願いいたします。

【お問い合わせ】

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 事務局

〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下る笹屋町444 初音館302

Fax：075-600-3238／ E-mail：info@sacp.jp／ URL：http://sacp.jp/

3. 会場

それぞれの会場の詳細は、受講が決定した際にお知らせします。

表記	会場の名称	最寄駅
御池	御池心理療法センター	阪急烏丸駅下車15分、 地下鉄烏丸御池駅下車2分
梅田	(詳細は受講決定後にお知らせします)	JR・阪急・阪神梅田駅下車10分 地下鉄中崎町駅下車すぐ
なんば	精神分析的心理療法・プラクティスなんば	地下鉄大国町駅下車5分

京橋	大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室	JR・京阪・地下鉄京橋駅下車 5分
新大阪	新大阪心理療法オフィス	JR・地下鉄新大阪駅下車 7分

4. 修了証の発行

「初学者向け子どもの心理療法セミナー」、「土曜研究会」を除く各セミナーについて、年度毎に修了証を発行いたします。修了証は、本NPOがコース修了と考える基準を明確にし、受講生がその基準を満たしたことを証明するためのものです。特に、日本精神分析学会認定の精神分析的心理療法士・精神療法医資格取得のために単位を必要とされる方は、該当するプログラムの修了証(又は7割の出席で発行される研修証明書)を得る必要があります。また、NPO法人子どもの心理療法支援会が認定する「子どもの精神分析的心理療法士」の資格取得を目指される方は修了証を取得していただく必要があります。詳しくは、受講確定後に配布する「受講の手続き」をご参照ください。各コースにおいて、修了証を受け取るためには、以下の要件を満たすことが必要となります。

乳児観察	2年間の乳児観察を終了すること
G.S.V.	出席率8割
その他セミナー	8割の出席および各講師が指定したテーマに沿ったエッセイの提出

5. 研修プログラム内容

5-1. 基幹セミナー

「基幹セミナー」は子どもの精神分析的な心理療法を学ぶために必須の基礎理論と体験学習で構成されていますが、子どもの臨床全般に役立つ内容です。より基礎的な内容は、応用セミナーの「初学者向け子どもの心理療法セミナー」で扱われます。

●乳児観察

精神分析的な心理療法を実践するにあたって、基本的な治療者の態度について学ぶことができます。心理療法の事例を持たない方の参加も歓迎しています。本セミナーのお申し込みは、事務局又は講師までお問い合わせください。なお、定員が超過した場合は「観察と臨床基礎コース」希望者の参加が優先されます。

乳児観察セミナー	平井正三先生／御池	毎週月曜日／19:30～21:00
	鵜飼奈津子先生／梅田	毎週土曜日／10:30～12:00
	由井理亜子先生／御池	毎週土曜日／11:00～12:30
～講師（平井先生）からの内容紹介～		
本セミナーでは、タビストック方式乳児観察を実際に経験することで、乳児の心の世界や母子関係の実際に触れる一方、精神分析的な観察のスタンスを身につけていくことを目指していきます。参加者は、2年間毎週1時間観察のために、そしてさらにそれ以上の時間を記録のために費やすこと		

のできるコミットメントを必要とされます。乳児観察の経験は子どもの精神分析的な心理療法の研修の基礎であると、本NPOは考えています。本セミナーに参加を希望される方に対しては、事前に始め方などをご相談いただく機会を設けますので、NPOの事務局もしくは講師にご連絡ください。

●精神分析入門セミナー

精神分析の歴史・基礎概念・技法などを系統的かつ包括的に学ぶことを目的としたセミナーです。少人数を対象とした講義形式で、かつ毎回講師が代わるオムニバス形式で豊かな視点を身に着けられるよう企画されていることが特徴です。本セミナーは「日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「系統講義」として認定されています。

精神分析入門セミナー	津田真知子先生 他／京橋	第1 土曜日／15:30～18:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>精神分析学会認定系統講義ですので4年(100時間)で精神分析の全体を学べるようにプログラムが組んであります。今回は2クール目の4年目で、「精神分析的療法面接技法」を学びます。精神分析を基礎から学びたい方のためのもので、中堅の方も再度ご自分の学びを振り返る機会にさせていただけるものです。講義は系統的に組まれています。</p> <p>この小規模セミナーは受容的な雰囲気の中で、講師の経験事例も聞きながら精神分析理論が生きた形で学べるように工夫されています。小規模なセミナーのために大規模なセミナーでは体験できない参加者同士の親密感や安心感を基に、出しにくい素朴な質問や疑問も率直に出せるのが特徴です。精神分析的臨床の力をつけるためには、絶えず実践と理論を行きつ戻りつ並行して学び、深く考える態度を身に着けることが必要です。また自分の疑問や考えを表現することが重要です。本セミナーはその訓練に寄与できるものと考えます。</p> <p>講義は、主に精神分析学会の認定精神療法医・認定心理療法士、及び認定スーパーバイザーが担当します。本年度も講師のほかにゲスト講師を加えて理解がより深まるようにしています。</p> <p>4年を1クールとしていますが、1年ごとの受講も可能ですので奮ってご参加下さい。</p> <p>受講希望者多数の場合は、精神分析学会の会員の方に優先して受講していただきます。</p>		

●ワーク・ディスカッションセミナー

ワーク・ディスカッションセミナー	鈴木誠先生／御池	第3 土曜日／18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>他職種との協働が求められる医療、福祉、教育などの臨床現場で、個人心理療法の枠組みでは収まりきらない『職場の日常』に、精神分析のエッセンスを生かす方法論です。激しいこころの痛みや情緒に巻き込まれて、対人援助職としてうまく機能できない場面について話し合い、探索して内省する力を養います。</p>		

●文献講読

精神分析および発達に関する基本的な文献を読み、学んでいきます。文献講読Iは2つのセミナーが開講されており、内容が異なりますのでご注意ください。飛谷先生によるなんば開講は1ターム4年の2年目(クライン)、平井先生による御池開講は1ターム4年の3年目(ビオン)となります。どちらの「文献講読I」も「日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「系統講義」として認定されています。

文献講読I 「精神分析のエッセンスを学ぶ」	クライン：飛谷渉先生／なんば	第4土曜日 ／18:30～21:00
	ビオン：平井正三先生／御池	第1土曜日 ／18:30～21:00
<p>～講師（飛谷先生）からの内容紹介～ 年間テーマ：「メラニー・クライン」 精神分析の歴史を踏まえた理論的、技法的発展について、フロイトからクライン、クラインからビオン、さらに現代クライン派の展開というクライン派の系譜を軸に、4年間かけて系統的に学んでゆく文献講読コースです。次年度は4クール目の2年目にあたり、メラニー・クラインが創出した概念や臨床技法について一年間かけて学びます。「無意識的空想」「内的対象」「抑うつポジション」「投影同一化」「羨望」など、独学では理解困難な諸概念について、ディスカッションを通じて臨床経験につながる理解が得られるように企画しています。今年度フロイトの文献講読に参加された方はもちろん、クラインの臨床概念を改めて深く理解したい方に適しています。もちろん今回だけのご参加も可能です。</p> <p>使用文献：メラニー・クライン著作集1～5（誠信書房）ミーラ・リカーマン「新釈メラニー・クライン」（岩崎学術出版社）、「精神分析家の生涯：第4講クライン」（岩崎学術出版社）</p> <p>～講師（平井先生）からの内容紹介～ 本セミナーでは、ビオンの主要な論文を読んでいきます。主要テキストは'Experiencesin Groups'(幾つか邦訳あり)、『Second Thoughts』（邦訳あり）, 'Seven Servants'（『精神分析の方法』）などを用います。副読本として、Vermote,Rの'Reading Bion'を用います。</p>		

文献講読III 「こころの発達心理学」	狗巻修司先生・久保信代先生 ／御池・オンライン	第2土曜日／16:30～18:30
	松本拓真先生／オンライン	第3土曜日／19:00～21:00
<p>文献講読III／御池は、前半を久保先生、後半を猪巻先生に担当していただきます。</p> <p>～講師(久保先生)からの内容紹介～ 文献講読IIIでは、2018年度から3年間のタームで Mary Ainsworth の『Patterns of Attachment』を講読しました。2021年度からの新たなターム(2年)では、子どもの情緒発達に関する最新の科学的知識が統合された『Nurturing Natures』(新版)を講読します。本書はアタッチメント理論、神経科</p>		

学、異文化研究などの視点から、遺伝と環境、トラウマ、ネグレクト、レジリエンスなどの重要なトピックを、古典から最新までの様々な研究例とともに取り上げています。家庭や社会的な文脈のなかでの子どもの発達について、一貫した視点で捉えることができる本書には、日ごろの心理臨床現場に生かせる見立てのヒントがあるはずです。2011年に初版が出版され、邦訳もありますが、今回は、新たなトピックが追加された2016年の新版をテキストとします。英語文献ですので1回につきおおよそ2章のペースで、じっくり取り組みたいと思います。また、内容の疑問や実際の臨床への応用について話し合いたいと思っています。

【テキスト】

Music, Graham. (2016) *Nurturing Natures: Attachment and Children's Emotional, Social and Brain Development*. London. Psychology Press (2nd edition)

～講師(狗巻先生)からの内容紹介～

近年の研究から、発達早期から人間の乳児には様々な能力が備わっていることが明らかにされています。そこで今回の文献演習では、いまなお発達心理学の重要な研究テーマであり続けている『乳幼児はどのように他者の心を理解するのか?』という問いについて検討したいと思います。

下記の文献を指定図書とし、毎回1～2章分をテキストとし、受講者で発表を分担・全員でディスカッションを実施できればと思います。1回目は下記の文献第1・2章を熟読した上でご参加ください。

【テキスト】

ヴァスデヴィ・レディ著・佐伯 胖 訳 『驚くべき乳幼児の心の世界:「二人称的アプローチ」から見えてくること』 ミネルヴァ書房

～講師(松本先生)からの内容紹介～

このセミナーでは、発達研究の代表的な著書や論文に触れることを目的としています。月に2～3本の論文(著書の場合は2～3章)を受講生がそれぞれ講読してきて、セミナーの中でディスカッションをすることで理解を深め、実際の臨床への適用可能性を話し合っていきます。内容は、TavistockのChild Development Researchセミナーのリーディングリストなどを参考に、講師がピックアップしたものを読んでいきますが、中心は乳児期早期の研究、親子関係の発達の研究、幼児を対象にした研究が中心となります。概念は聞いたことはあるけど、実際にはなかなか読む機会がないような論文や原著を対象にするため、邦訳があるものについては翻訳を参照していただいてもかまいませんが、セミナーの半分程度は翻訳がないものになる予定です。子どもを対象とした臨床を始めた初学者から、改めて発達研究を学び直したい経験者まで幅広い方のご参加をお待ちしております。

5-2. 応用セミナー

「応用セミナー」は、講師の先生方が独自に運営されるセミナーを本研修プログラムの一つとして組み入れているものです。経験豊富な講師の方々がそれぞれユニークな視点と専門性をもって開催しているセミナーです。より多角的に心理療法について学ぶことができます。

●グループスーパービジョン

少人数のグループスーパービジョンです。1年間継続して、同一のメンバーが、同じスーパーバイザーのもとで事例を検討します。各グループとも受講生にあった細やかな指導がなされるとともに、スーパーバイザーの臨床に対する考え方やケースに対する姿勢など、さまざまな面を学ぶことができます。「森ノ宮事例検討会」だけは毎回様々な先生を講師としてお招きし、多角的な議論ができるようになっております。なお、Small Group S.V. I・森ノ宮事例検討会については、「日本精神分析学会認定精神療法医・心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「症例・事例検討会」として認定されています。

Small Group S.V. I	飛谷渉先生／なんば	第2・4火曜日／20:00～21:30
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>子ども、思春期、成人という幅広い年齢層のケースを対象としてグループ・ディスカッション形式のスーパービジョンを行います。精神分析的心理療法における治療構造の創造とその維持、転移逆転移をどう読みどう解釈するか、その二つをグループスーパービジョンの主眼とし、さらに心理療法のセットアップ、アセスメント、精神分析的態度の獲得などにも適宜ふれて行きます。その中で1セッションごとに何が起きているのかを感知できる力をつけることを目標とします。日本精神分析学会認定研修グループ（症例検討会機能）となっています。</p>		

Small Group S.V. III	仙道由香先生／新大阪	第2・4火曜日／8:30～10:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>大学生程度から老年期まで幅広い年齢層の成人(個人)を対象とした精神分析的心理療法について検討します。毎回ひとつのセッションに関する詳細なプロセスノートをもとに、小グループで、丁寧にディスカッションし、セラピストとクライアントの間で展開される転移・逆転移やファンタジーを生き生きと理解することを目指します。さらに、より適切な関わり方の技法について理解を深めます。</p> <p>※前年度から引き続いて参加ご希望の方も、今年度分として改めてお申込みをしてください。</p> <p>※参加にあたって懸念事項や質問がある方は講師にご相談ください。</p> <p>【参考文献】</p> <p>必要に応じ、随時ご紹介します。</p>		

森ノ宮事例検討会	津田真知子先生 他／京橋	第1土曜日／18:30～20:30
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>精神分析入門セミナー（15時30分～18時）の後の時間帯（18時30分～20時30分）に行われます。参加者が順番に事例を提供し、それを助言者の先生を中心に参加者全員で検討します。助言者は入門セミナーの講師、ゲスト講師の2名で、2名の先生とクローズドの参加者で毎回率直なディスカッションがなされます。凝集性が高く活発でオープンな雰囲気の検討会ですので初めて事例を出される方も参加しやすいものです。</p> <p>参加者は、事例を提供できる方に限定します。事例検討会は、自分の経験していないケースについて考え、自分の考えを言語化する訓練の機会になり、臨床家に不可欠な研修です。</p> <p>日本精神分析学会認定の事例検討会ですので、精神分析学会の会員、特に認定取得を希望される方の参加を優先いたします。</p>		

●セミナー・ワークショップ・勉強会

それぞれのセミナーやワークショップが独自のテーマを設定し、少人数で1年間継続して学べるようになっていきます。事例の特徴に合わせて必要な知識を集中的に学べるセミナーや子どもに限らず心理療法の基本を学べるセミナーなどがあります。

思春期青年期の精神分析的な心理療法セミナー： タビストックのアドレッセント臨床を学ぶ	飛谷渉先生 ／なんば	第2土曜日 18:30～21:00 (月により第5土曜日開催)
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>本年のテーマ：「現代の思春期とバーチャル世界：コロナ禍でのオンライン・セラピーの可能性」</p> <p>本講は、前半1.5時間の文献講読と、後半1.5時間の事例検討で構成されています。今回の思春期文献講読では、突如世界を恐慌状態に陥れているコロナパンデミック下でのサイコセラピーの可能性と、近年急速に進んできた思春期におけるバーチャル世界との関わりについての精神分析的な理解に取り組みます。</p> <p>思春期青年期（13歳～22歳）の臨床例をお持ちの臨床家、もしくは近い将来そのような年齢層の患者との面接をする予定の臨床家が対象となります。スクール・カウンセリング、学生相談、児童思春期精神医療、児童養護施設など、様々な領域からの事例検討を行います。その際、特に臨床現場の特性やセッティングの相違によるアプローチの違いに焦点化して検討します。メンバーには文献講読か事例検討どちらかへのご発表をさせていただきます。</p> <p>使用文献： ‘Psychoanalysis in the technoculture era.’ (Ed) Lemma& Caparrotta (Routledge, 2014)</p>		

心理療法のアセスメント（成人）	仙道由香先生／新大阪	第 4 土曜日／18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>心理療法にさきだつては、丁寧なアセスメント・コンサルテーションをおこなうことが極めて重要です。アセスメント・コンサルテーションとは、目の前に現れたその人にとり、いまこの時点において心理療法が役に立ちそうか、役に立つとするならばどのような頻度や設定の心理療法を、どのような治療目標のもとにおこなうことが最もよいか、セラピストや治療構造の限界なども見極めつつ判断し、合意に至ろうとするプロセスを指します。最終的な合意という結論に至る道のりそのものが既に治療的な体験をもたらすこともできます。本セミナーでは、そのようなアセスメント・コンサルテーションについて、毎回まず 1 時間半を費やして参考文献を皆で講読し、考え方や技法について理解することを目指します。次いで 1 時間の事例検討をおこない、より体験的に理解を深めることも目指します。</p> <p>※本シリーズは成人を対象としたアセスメントを取り扱います。</p> <p>※新規参加の方も前年から継続して参加の方もいずれも歓迎です。</p> <p>※参加者の安全確保の観点から、例年より定員数を減らして実施します。参加にあたって懸念事項や質問がある方は講師にご相談ください。</p> <p>【参考文献】</p> <p>1) 仙道由香, 2019, 心理療法に先立つアセスメント・コンサルテーション入門, 誠信書房.</p> <p>2a) Peter Hobson(Ed.), 2013, Consultations in Psychoanalytic Psychotherapy, Karnac.</p> <p>2b) 福本修(監訳), 2019, 精神分析的な心理療法におけるコンサルテーション面接, 金剛出版.</p> <p>1)は必須。2a)と 2b)は同じ書籍の、原著および日本語訳版です。自分の状況等に応じて、適切な方を選択しましょう。</p>		

初學者向け 子どもの心理療法セミナー	渡邊智奈美先生／京橋	第 2 土曜日／13:30～15:30
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>このセミナーは、大学院生や臨床経験 5 年目くらいまでの初心者の方を対象としています。子どもの精神分析的な心理療法に関心があり、実践し始めたばかりの方に向けているセミナーです。訓練コースに入ることを検討しつつも、まだはっきり決心がつかない初心者の人にも向いています。セミナーの前半（1 時間）は文献の講読とディスカッションを行います。</p> <p>文献は、今年度はアルヴァレスの『The Thinking Heart』の翻訳書、『子どものこころの生きた理解に向けて』を読んでいこうと考えています。この文献を指定図書とし、毎回 1～2 章をテキストとし、受講者で発表を分担・全員でディスカッションを実施できればと思います。1 回目はこの文献の「解題」を読んだ上でご参加ください。後半（1 時間）は子どもの事例検討を行い、参加者が自らの臨床について言葉にして提示する機会を提供します。初学者ならではの素朴な疑問、心理療法を実施しようとするうえで生じる不安についても一緒に考えていく場にしたいと考えています。このセミナーは同じような経験をしている初学者メンバーが集まるグループでもありますの</p>		

で、仲間とともに日々感じることを率直に話し合う場として、臨床実践をしていく上で大いに活用していただければと思います。

【指定図書】

アン・アルヴァレス著 脇谷順子監訳『こどものこころの生きた理解に向けて ～発達障害・被虐待児との心理療法の3つのレベル』2017 金剛出版

●正会員限定

土曜研究会	土曜研究会委員会企画／御池	第3土曜日／19:00～22:00
～委員会からの内容紹介～ 文献講読と事例検討会を行いながら、専門会員が個々の研究について発表していきます。NPO 正会員はボランティア会員含め、どなたでも、いつからでも、無料で参加することができます。会場は御池心理療法センターを予定しています。		

※本 NPO は、精神分析的心理療法の実践において、個人スーパービジョンおよび個人分析・個人セラピーを受けることは重要かつ欠かせないものと考えております。個人スーパービジョン、個人分析をご希望の方には、ご相談を受付けますので、事務局（info@sacp.jp）までご連絡ください。

講師紹介（敬称略、50音順）

狗巻修司	京都府立大学大学院修了（博士：福祉社会学）後、日本学術振興会特別研究員（PD）、佐賀大学文化教育学部講師を経て、現在、奈良女子大学大学院人文科学系准教授。
鵜飼奈津子	1997～2004年タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 取得。ロンドン医療センターおよび Refugee Therapy Centre、Child & Adolescent Psychotherapist を経て、現在、大阪経済大学人間科学部教授。
久保信代	Lesley College (現 Lesley University) Graduate School、Severe Special Needs 修了。Adult Attachment Interview コーダー資格。公認心理師。臨床心理士。 現在、関西福祉科学大学心理科学部心理科学科准教授。
鈴木誠	1988年名古屋大学医学部精神医学教室 卒後研修修了。現在、くわな心理相談室 主宰。日本精神分析学会認定スーパーバイザー・認定心理療法士。
仙道由香	臨床心理士。2008～2014年タビストック・クリニック成人部門留学。タビストック認定成人心理療法士(TQAP)資格取得。英国精神分析協議会(BPC)登録精神分析的な心理療法士。現在、新大阪心理療法オフィス代表のほか、大阪経済大学および同大学院にて兼任講師も務める。 https://yukasendo.com
竹山陽子	奈良女子大学修士課程修了。現在、御池心理療法センター/岡クリニック勤務。日本精神分析学会認定心理療法士。NPO 法人子どもの心理療法支援会認定「子どもの精神分析的な心理療法士」。
津田真知子	奈良女子大学修士課程修了。関西心理センター・谷町子どもセンター所長を経て現在、大阪心理臨床研究所代表。NPO 法人子どもの心理療法支援会副理事長。国際精神分析協会 (IPA) 認定精神分析家 (日本精神分析協会準会員)。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪 (IPPO) 理事。
飛谷渉	1991年大阪市立大学医学部卒、2004～2008年タビストック・クリニック思春期青年期部門留学。現在、大阪教育大学保健センター准教授。精神科医、日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪 (IPPO) 理事。
平井正三	京都大学教育学研究科博士課程を経て、タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 訓練コースを修了し、資格取得。現在、御池心理療法センター代表および認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会理事長。大阪経済大学客員教授。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪 (IPPO) 会長。
松本拓真	大阪大学大学院博士後期課程修了（人間科学博士）し、現在、岐阜大学教育学部准教授。2018年に「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー（コンサルタントセラピスト）」を取得。自著に「自閉スペクトラム症を抱える子どもたち：受身性研究と心理療法が拓く新たな理解」（金剛出版）がある。
由井理亜子	大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得認定退学。臨床心理士。公認心理師。2017年「子どもの精神分析的な心理療法士」を取得。現在、御池心理療法センター、精神科などで勤務。
渡邊智奈美	大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了。臨床心理士。公認心理師。2015年「子どもの精神分析的な心理療法士」資格取得。現在、河内総合病院、大阪心理臨床研究所に勤務。